

野村万作 狂言の会

演目 ひ ぐず
狂言「籤 屑」
おに がわら
狂言「鬼 瓦」
あく た ろう
狂言「悪 太郎」

出演 野村万作 野村萬齋
石田幸雄 他

2020. 9/24(木)

開場 18:00 開演 19:00

黒部市国際文化センター

カラーレ (カーターホール)

全席指定

一般5,000円

高校生以下1,000円

(カラーレでのみ発売)

障がい者手帳をお持ちの方

4,000円 (カラーレでのみ発売)

チケット一般発売日 7月19日(日)9:00~

- この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。
- 未就学児の入場はご遠慮願います。公演中、未就学児を対象とした「一時保育(無料)」を実施しています。公演10日前までにお申し込みください。
- 車椅子の方、補助犬をお連れの方は、席席の相談を承りますので、カラーレまでお問い合わせください。

■プレイガイド：カラーレ・チケットぴあ(セブンイレブン等) Pコード 502-255

主催/公益財団法人黒部市国際文化センター
共催/チューリップテレビ
後援/黒部市 黒部市教育委員会 北日本新聞社

●お問い合わせ●

カラーレ 〒938-0031 富山県黒部市三日市20番地
TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207

info@colare.jp http://www.colare.jp/
開館時間:9:00~22:30(土曜~23:00) / 毎週水曜日休館

ご来場のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。

- 手洗い、消毒液のご利用をお願いいたします。
 - 「マスク着用」や「咳エチケット」にご協力ください。
 - 咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。
- ※密集を避けるため、原則隣席を空けた座席配置となります。隣りあわせでの購入はできませんので、ご了承ください。
- ※感染症拡大防止のため、公演が中止・変更になる場合があります。最新情報はHPをご覧ください。

六五〇年の歴史を誇る、日本古来の伝統芸能。
野村万作・萬齋が室町時代から続く最古の喜劇
「狂言」の世界へ誘います。



野村万作 狂言の会

六五〇年の歴史を誇る、日本古来の
伝統芸能。

野村万作・萬齋が室町時代から続く
最古の喜劇「狂言」の世界へ誘います。



野村万作 狂言師

一九三一年生。重要無形文化財各個指定保持者（人間国宝）。文化功労者。祖父・故初世野村萬齋及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。狂言の秘曲である「釣狐」の演技で芸術祭大賞を受賞した他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、旭日小綬章など、多くの受賞歴を持つ。国内外で狂言普及に貢献し、ハワイ大、ワシントン大では客員教授を務める。古典はもとより新しい試みにもしばしば取り組み、代表作に「月に憑かれた工口」「子午線の祀り」「秋江」「法螺待」などがある。近年では「檀山節考」の再演に取り組み、大きな成果をあげている。二〇一九年、著書「狂言を生きる」を刊行。



野村萬齋 狂言師

一九六六年生。野村万作の長男。祖父・故六世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇や映画の主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。九四年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、紀伊國屋演劇賞、朝日舞台芸術賞などを、「子午線の祀り」の再演で二〇一七年度毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞を受賞。世田谷パブリックシアター芸術監督。東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会開会式・閉会式のチーフ・エグゼクティブ・クリエーティブ・ディレクター。



石田幸雄 狂言師

一九四九年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ野村家の重要な演者。大曲の「三番叟」「釣狐」「花子」をすでに初演。国内外で狂言・能公演に多数参加、普及に貢献している。主宰していた「雙ノ会」で芸術祭大賞、個人で観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。大胆かつ緻密な演技で、古典はもとより「国盗人」など新しい試みの舞台でも存在感を見せる。普及公演での的確な解説にも定評がある。

狂言 番組

解説 野村萬齋

狂言 簸屑 ひくす

宇治の里に住むある家の主人が、今年は先祖の遠忌（重い節目の年忌）に当たるので、宇治橋供養の参詣の人々に接待茶をふるまおうと思いい、太郎冠者に簸屑（屑茶）を挽くよう命じて外出する。いやいや茶を挽く太郎冠者だが、やがて眠くなり、居眠りを始めてしまう。使いから帰ってきた太郎冠者が目を覚ませようとするが、全く起きない。怒った次郎冠者は太郎冠者に鬼の面を被せておく。そこへ主人が帰ってきてきて……。居眠りをしたりうろたえたりと、表情豊かな太郎冠者の演技がみどころです。

太郎冠者 深田博治

主 内藤 連
次郎冠者 高野和憲

後見 飯田 豪

狂言 鬼瓦 おにがわら

長らく在京していた大名が、無事訴訟も叶い帰国することになる。これも日頃信仰している因幡薬師のおかげと、お礼と暇乞いのため太郎冠者を連れ参詣に向く。お参りを済ませた二人がお堂の様子を見て回るうち、ふと見上げた屋根の鬼瓦が目に入る。すると大名は急に泣き出してしまい……。ほのぼのとしたユーモアのある、味わい深い狂言です。大名や太郎冠者とともに、お寺を見て歩いているような気分でご覧ください。

大名 野村万作

太郎冠者 石田淡朗
後見 中村修一

狂言 悪太郎 あくたろう

乱暴者の悪太郎は、酒を飲むことを非難する伯父を脅してやろうと、長刀を携えて出かけていく。ところが、そこでもさんざん酒を飲み、よい機嫌になると、帰る道すがら寝込んでしまう。後をつけてきた伯父は、道端に寝ている悪太郎を見つけて僧形にし、「今後は南無阿弥陀仏と名づける」と言い渡して去る。さて、目を覚ました悪太郎は……。行き場の無いエネルギーを放出していた悪太郎ですが、「南無阿弥陀仏」と名づけられるのを境に舞台が一変します。狂言らしい笑いに溢れる前半と共に、悟りに至る後半もまた見どころです。

悪太郎 野村萬齋

伯父 石田幸雄
僧 中村修一
後見 内藤 連